

認定コミュニティ活動状況資料

浜須賀地区まちのちから協議会

(1) 認定基準への適合に関する資料

認定基準確認表	1
規約等	2～6
委員名簿	7

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する資料

前年度の活動報告書及び収支決算書	8～14
当該年度の活動計画書及び収支予算	15～18
特定事業の概要	19
(広報紙「浜須賀まちのちから」発行事業)	
特定事業実施報告書	20～21
(広報紙「浜須賀まちのちから」発行事業)	
特定事業の概要	22
(地域乳幼児サポート事業)	
特定事業実施報告書	23～24
(地域乳幼児サポート事業)	

【参考資料】 浜須賀まちのちからニュース (第24号～第25号)

設立趣意書抜粋（地区の特性等）

浜須賀地区には、浜須賀地区自治会連合会に12の単位自治会があり、自助・共助の組織として、地域住民相互の連帯感、自治意識の向上を図っています。そして、自治会以外の団体も地域課題に専門的に取り組み、地域の中で年間を通して様々な地域活動を行っています。

一方で、急速な少子高齢化や核家族化、それに伴い生活スタイルも多様化してきており、個々の団体だけでは解決できない様々な問題があり、地域の課題はその地域が一体となって解決していかなければいけない必要性が生じてきています。

浜須賀地区においても、地域で起きている身近な問題を地域住民自身の力で解決したいという気運が高まり、浜須賀地区自治会連合会は茅ヶ崎市が提案する新たな地域コミュニティのモデル地区として参画することとしました。そこで、地域活動の拠点施設を管理運営する浜須賀会館管理運営委員会とともに浜須賀地区まちのちから協議会設立準備会を組織し、地域の様々な活動話し合い、地域の絆づくりを進め、できるだけ多くの住民が地域のまちづくりに関わりを持っていただくことを目的として、各種団体や地域住民が参画し協議をする場である新たな地域のコミュニティ「浜須賀地区まちのちから協議会」を設立することとしました。

認定基準確認表

浜須賀地区まちのちから協議会

認 定 基 準 (地域コミュニティの認定等に関する条例第2条)		基準への適合状況（申請時）	基準への適合状況（R6年度）
(1)	申請書に、主として活動する区域が記載されているか。	申請書に活動区域の記載あり。	
	申請団体の規約に、主として活動する区域が規定されているか。	規約第1条に市長が告示する浜須賀地区を協議会の活動区域とする旨規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
	規約に規定された主として活動する区域が、市長の告示する区域と合致しているか。	市長が告示する区域である、審議会ファイル「別図10」と規約第1条における協議会の活動区域が合致。	・申請時と同様で変更無し。
(2)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、当該活動区域に有する、市長に届け出た全ての自治会（以下「全ての自治会」という。）が規定されているか。	規約第5条（1）に「浜須賀地区に属する各単位自治会の代表」が委員である旨記載あり。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、全ての自治会が構成員であることが明確であるか。	市長に届け出た自治会は「地区別単位自治会の名称」のとおり12自治会あり、名簿に、「地区別単位自治会の名称」に記載されている全ての自治会名が記載されている。	・別紙名簿のとおりいくつかの自治会で会長の変更はあるものの、申請時と同様に全ての自治会が構成員となっている。
(3)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例施行規則第3条第1項各号に規定された団体が規定されているか。	規約第5条（2）（3）（4）に規定あり。 ◆地域福祉の推進を主たる目的とするコミュニティ （2）に、地域福祉全般に関する地域団体の代表として規定されており、①浜須賀地区社会福祉協議会、②浜須賀地区民生委員児童委員協議会が参加している。 ◆文化、芸術又はスポーツの振興を主たる目的とするコミュニティ （3）にスポーツ・健康に関する地域団体の代表として規定されており、浜須賀地区体育振興会が参加している。 ◆児童又は青少年の健全な育成を主たる目的とするコミュニティ （4）に、青少年育成に関する地域団体の代表として規定されており、①浜須賀小学校区青少年育成推進協議会、②緑が浜小学校区青少年育成推進協議会、③浜須賀小学校PTA、④浜須賀中学校保護者会のほか、準委員として浜須賀小学校、緑が浜小学校、浜須賀中学校の3校が参加している。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、前項の団体が構成員であることが明確であるか。	名簿に、「規約第6条（2）（3）（4）」に該当する団体名が記載されている。	・申請時と同様で変更無し。
(4)	申請団体の規約に、公募により選出される構成員について規定されているか。	規約第5条（11）に規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
(5)	申請団体の規約に、申請団体の活動又は事業に活動区域の誰もが参加できることが規定されているか。	規約第10条、第23条～第26条に部会の規定あり。	・申請時と同様で変更無し。 ※ 昨年度実施された各事業においてはいずれも参加条件を設けず、誰もが参加できる事業としたほか、目安箱により住民意見の聴取に努めた。
(6)	申請団体の規約に、運営が民主的に行われる仕組みが規定されているか。	規約第10条第2項及び第3項に過半数の出席、多数決といった意思決定の方法が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。 ※ 協議会に関する様々な情報を積極的に発信するため、広報紙を年2回発行し、組織の透明性を高めるよう努めた。
(7)	申請団体に関する、目的、名称、主として活動する区域、主たる事務所の所在地、代表者に関する事項、会議に関する事項が規定された規約があるか。	規約第1条に名称及び主として活動する区域、第2条に主たる事務所の所在地、第3条に目的、第9条に代表者に関する事項、第10条に会議に関する事項が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(8)	申請団体の規約に、営利的活動、宗教的活動、政治的活動を主たる目的とする事業が行われないことが読み取れるか。		・別紙事業報告書のとおり、規約第3条に規定された目的達成に関する事業のみを行っている。

浜須賀地区まちのちから協議会規約

(名称及び組織)

第1条 この会は、浜須賀地区まちのちから協議会（以下「協議会」という。）と称し、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に規定する市長が告示する浜須賀地区（以下「浜須賀地区」という。）の市民及び地区内で活動する各種団体で組織する。

(所在地)

第2条 協議会の所在地は、浜須賀会館（所在地：茅ヶ崎市松が丘二丁目8番63号）に置く。

(目的)

第3条 協議会は、地域における課題解決のため、住みよい地域社会の構築を目指し、浜須賀地区の市民、各種団体及び市が一体となり、自主的、主体的に地域活動を行うことを目的とする。

(事業)

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 浜須賀地区の市民及び各種団体の共通の課題解決に向けての協議、学習等に関すること。
- (2) 浜須賀地区の各種団体の活性化及び各種団体相互の連絡調整に関すること。
- (3) 浜須賀地区の市民の参画と情報の共有並びに協働の推進に関すること。
- (4) その他、前条の目的達成に必要な事業の実施に関すること。

(委員)

第5条 協議会の委員は、次に掲げる者で構成し、委員の数は30名以内とする。

- (1) 浜須賀地区に属する単位自治会の代表者
 - (2) 地域福祉全般に関する地域団体の代表
 - (3) スポーツ・健康に関する地域団体の代表
 - (4) 青少年育成に関する地域団体の代表
 - (5) 防犯・安全に関する地域団体の代表
 - (6) 防災に関する地域団体の代表
 - (7) 生活環境に関する地域団体の代表
 - (8) 文化・生涯学習に関する地域団体の代表
 - (9) 地域住民の交流・絆づくりの場を管理運営する地域団体の代表
 - (10) 協議会が推薦する者
 - (11) 公募により認められた者
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 「公募により認められた者」にあたる委員の任期は、2期までとする。
- 4 欠員による補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(準委員)

第6条 本会に準委員を置く。

- 2 準委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 欠員による補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第7条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名

- (2) 副会長 2名
- (3) 会計 1名
- (4) 監事 2名

2 前項の役員は、総会において、委員の中から選任する。

3 役員手当は、別に定める。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 欠員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員の職務)

第9条 役員は、次の職務を行う。

(1) 会長は、協議会の事務を総括し、協議会を代表する。

(2) 副会長は、会長を補佐するとともに協議会の業務を分担する。会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が定めた順位によりその職務を代理する。

(3) 会計は、協議会の会計事務を処理する。

(4) 監事は、次の職務を行う

ア 協議会の会計の状況を監査すること

イ 会長、副会長及び会計の業務執行の状況を監査すること。

ウ 前各号により不整の事実を発見したときは、これを総会に報告すること。また、これを報告するため必要があると認めるときは、総会の招集を請求することができる。

(会議)

第10条 協議会の会議は、総会、役員会、運営委員会及び部会とする。

2 会議は、各会議を構成する者の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、総会にあたっては委員のうち、運営委員会にあたっては委員及び準委員（以下「委員等」という）のうち、委任状の提出があった者については、出席があったものとみなす。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会の構成)

第11条 総会は、委員をもって構成する。

2 総会の議長は、本会の会長が就く。

(総会の種別)

第12条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

2 定期総会は、年度当初に開催する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、総会を構成する者の三分の一以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき及び第9条第1項第4号ウの規定により監事から請求があったときに開催する。

(総会の招集)

第13条 総会は、会長が招集する。

2 総会を招集するときは、委員に対し、会議の目的、内容、日時及び場所を示して会議の7日前までに通知しなければならない。

(総会の議決事項)

第14条 総会は、次に掲げる事項を議決する。

(1) 事業報告及び決算に関すること。

- (2) 事業計画及び予算に関する事。
- (3) 委員等の選任及び解任に関する事。
- (4) 役員の選任及び解任に関する事。
- (5) 規約の制定及び改正に関する事。
- (6) その他、第5条に掲げる委員から提案された事項に関する事。

(総会の議事録)

第15条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 委員の現在数及び出席者数(委任状を提出した委員も含む。)
- (3) 開催目的、協議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその総会において選任された議事録署名人2名以上の署名押印をしなければならない。

(役員会の構成)

第16条 役員会は、役員(監事を除く)をもって構成する。

- 2 役員会の議長は、本会の会長が就く。
- 3 役員会には、役員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(役員会の招集)

第17条 役員会は、会長が必要と認めたときに招集する。

(役員会の議決事項)

第18条 役員会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会及び運営委員会に付議する事項
- (2) 総会及び運営委員会において議決された事項のうち、協議会全体に係るものの執行に関する事項
- (3) その他総会及び運営委員会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(運営委員会の構成)

第19条 運営委員会は、委員等をもって構成する。

- 2 運営委員会の議長は、会長が就く。
- 3 運営委員会には、委員等以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(運営委員会の招集)

第20条 運営委員会は、会長が必要と認めたときに招集する。

(運営委員会の議決事項)

第21条 運営委員会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会及び役員会に付議すべき事項
- (2) 各部会が協議した事業に関する事項
- (3) 各部会間及び各種団体間の連絡調整
- (4) 各部会員の選任に関する事項
- (5) 総会及び役員会において議決された事項の執行に関する事項
- (6) 総会及び役員会の議決を要しない会務の執行に関する事項
- (7) 協議会に寄せられた意見及び提案事項(以下「意見等」という。)に関する事項
- (8) その他、委員等から提案された事項

(運営委員会の議事録)

第 2 2 条 運営委員会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 委員等の現在数及び出席者数（委任状を提出した委員等も含む。）
- (3) 開催目的、協議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその運営委員会において選任された議事録署名人 2 名以上の署名押印をしなければならない。

（部会の構成）

第 2 3 条 委員等の他、運営委員会が選任した部会員で構成する。

- 2 部会に、部会長及び副部会長を置く。
- 3 部会の議長は、部会長が就く。

（部会長及び副部会長の任期）

第 2 4 条 部会長及び副部会長の任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠により選任された部会長及び副部会長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 部会長及び副部会長は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

（部会の招集）

第 2 5 条 部会は、部会長が必要と認めたときに招集する。

（部会の協議事項）

第 2 6 条 部会は、所掌する事項について調査・審議し、役員会に報告する。

- 2 部会名及び所掌する事項は、別に定める。

（事務局）

第 2 7 条 協議会に、事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、浜須賀地区の市民から役員会が推薦し、総会で承認を得た者を置くことができる。

（事務局の所掌事務）

第 2 8 条 事務局は、次の事務を司るものとする。

- (1) 会議への出席
- (2) 会議の開催通知書の作成及び送付
- (3) 会議の資料の作成
- (4) 会議の議事録の作成
- (5) 会計事務に伴う資料の作成
- (6) 茅ヶ崎市や関係団体との連絡調整
- (7) 協議会に寄せられた意見等のとりまとめ

（事業及び会計年度）

第 2 9 条 協議会の事業及び会計年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 3 1 日とする。

（経費）

第 3 0 条 協議会の経費は、補助金及びその他の収入をもってあてる。

（住民等からの意見等の取り扱い）

第 3 1 条 会議でだされた意見等のほか、浜須賀地区の市民及び各種団体から寄せられた意見等は、事務局が取りまとめ、運営委員会に報告する。

(必要事項)

第 3 2 条 その他、協議会の運営について必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、平成 2 5 年 3 月 9 日から施行する。

附 則

この規約は、平成 2 6 年 2 月 2 2 日から施行する。

附 則

この規約は、平成 2 6 年 4 月 2 6 日から施行する。

附 則

この規約は、平成 2 8 年 3 月 2 9 日から施行する。

附 則

この規約は、令和 3 年 4 月 2 9 日から施行する。

令和6年度 浜須賀地区まちのちから協議会名簿

No.	役職	氏 名	所属団体	備考
1	会 長	朝倉 哲男	防犯指導員代表（防犯部会長） 市まちぢから委員	
2	副会長	金子 芳郎	平和町自治会会長 市まちぢから委員	
3	副会長	久木田 寛素	菱沼海岸自治会会長（防災部会長）	
4	会 計	角田 英子	協議会推薦	
5	監 事	織岡 美法子	協議会推薦	
6	監 事	小林 真幸	松涛会自治会会長	
7	委 員	伊熊 恵	松浜自治会副会長	令和6年度 交代
8	委 員	中山 智行	三が丘自治会会長	令和6年度 交代
9	委 員	田中 英一	菱沼南部自治会会長	令和6年度 交代
10	委 員	岡田 和男	浜須賀自治会会長	令和6年度 交代
11	委 員	三井 篤	菱沼海岸緑自治会会長	令和6年度 交代
12	委 員	片岡 哲	翠松会自治会会長	令和6年度 交代
13	委 員	脇阪 朋子	浜須賀住宅自治会会長	令和6年度 交代
14	委 員	浦山 哲爾	松が丘ハイツ自治会会長	令和6年度 交代
15	委 員	大胡 政治	オーベル茅ヶ崎ラチエン通り自治会会長	令和6年度 交代
16	委 員	安倍 澄子	浜須賀地区民生委員児童委員協議会会長	
17	委 員	大門 則夫	浜須賀地区社会福祉協議会会長	
18	委 員	福室 好夫	浜須賀地区体育振興会会長	
19	委 員	安藤 桐子	浜須賀小学校区青少年育成推進協議会会長	
20	委 員	梅木 千恵子	緑が浜小学校区青少年育成推進協議会会長	
21	委 員	横倉 知子	浜須賀中学校学年代表者会	令和6年度 交代
22	委 員	伊藤 季美	浜須賀小学校PTA会長	
23	委 員	横田 慎也	環境指導員	
24	委 員	清水 孝	浜須賀会館管理運営委員会会長	
25	委 員	松村 浩	公募委員	
26	委 員	大森 伸弥	公募委員	
	準委員	尾木 左紀子	浜須賀中学校 校長	
	準委員	青柳 和富	浜須賀小学校 校長	
	準委員	菅野 康一	緑が浜小学校 校長	
	準委員	光野 勝江	地域包括支援センター「あさひ」	

令和6年度事業報告

1 会議等の実施について

(1) 総会、運営委員会、役員会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和6年4月11日	役員会	(1) 定期総会議案の確認 (2) 部会の確認 (3) 行政からの連絡事項 (4) 諸団体からの分担金について
4月27日	総会	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和5年度収支決算について (3) 監査報告 (4) 役員の選任（案） (5) 令和6年度事業計画（案） (6) 令和6年度収支予算（案）
5月11日	役員会	(1) 市民のつどいについて (2) 組織整備について (3) 防災部会事業について (4) 市まちぢから協議会連絡会連絡事項 (5) 諸団体の分担金 (6) 当面の日程
5月18日	運営委員会	(1) 市民のつどいについて (2) 部会・団体報告 (3) 市まちぢから協議会連絡会連絡事項 (4) 諸団体の分担金について
7月13日	役員会	(1) 市民のつどいについて
7月20日	運営委員会	(1) ごみ分別収集について (2) 消防第12分団活動報告・会計報告 (3) 市民のつどい報告 (4) 部会・団体報告 (5) 市まちぢから協議会連絡会連絡事項
8月17日	役員会	(1) 市民のつどい報告の方法について (2) 認定コミュニティ（まちぢから協議会）制度の意見交換会のまとめについて (3) 部会関連
9月21日	運営委員会	(1) 認定コミュニティ（まちぢから協議会）制度（意見交換会のまとめ）について (2) 部会報告 (3) 団体報告
10月12日	役員会	(1) 部会報告 (2) 行政からの依頼事項

		(3) 市まちぢから協議会連絡会の事業 (4) 収支中間報告 (5) 次年度の広報紙・赤ちゃんサポート事業について
11月16日	役員会	(1) 部会報告 (2) 行政からの依頼事項 (3) 市まちぢから協議会連絡会の事業 (4) 広報紙第24号の発行について (5) 公募の委員募集について
11月23日	運営委員会	(1) 部会報告 (2) 行政からの依頼事項 (3) 市まちぢから協議会連絡会連絡事項 (4) 関連団体報告
令和7年1月18日	役員会	(1) 市まちぢから協議会連絡会報告 (2) 防災訓練（防災フェア）の振り返り (3) 広報紙第25号編集について (4) 新年の集いと浜須賀会館40周年記念祝賀会 (5) 公募委員の募集について (6) 防災訓練について
令和7年1月25日	運営委員会	(1) 部会報告 (2) 浜須賀地区まちのちから協議会組織改正について (3) 市まちぢから協議会連絡会報告 (4) 関係団体報告
3月16日	役員会	(1) 部会報告 (2) 浜須賀地区まちのちから協議会組織改正について (3) 定期総会について (4) 公募の委員選考会議について
3月23日	運営委員会	(1) 部会報告 (2) 活動報告 (3) 浜須賀地区まちのちから協議会組織改正について (4) 浜須賀地区次年度年間行事と広報紙への掲載について (5) 市まちぢから協議会連絡会報告

(2) 自治会長会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和6年12月14日	第1回 自治会長会議	民生委員児童委員一斉改選の説明
令和7年 2月22日	第2回 自治会長会議	役員・組織の考え方

(3) 防災部会 毎月第3（水）19時から自主防災会・防災リーダー中心に開催しました。

実施日	会議の名称	主な内容等
令和6年4月17日	第1回 防災会議	部会の進め方・年間計画について
5月15日	第2回 防災会議	DIG 訓練の準備

5月18日	DIG 訓練	地区の住民対象 市防災対策課事業
6月3日、11日、21日	避難所設営訓練	浜中、浜小、緑小各校で避難所設営訓練 市主催
6月22日	防災研修	厚木総合防災センター研修 一般参加
7月17日	第3回 防災会議	HUG 訓練の準備
8月 3日	防災訓練	HUG 訓練 自主防災会・防災リーダー 仮想:緑小エリア
8月21日	第4回 防災会議	防災訓練（防災フェア）の準備
9月18日	第5回 防災会議	※災害時防災協定協議
10月16日	第6回 防災会議	災害時防災連携協定 12 自主防災会共有
11月20日	第7回 防災会議	防災訓練（防災フェア）の最終チェック、事前講習
11月30日	地区防災訓練 （緑が浜小学校）	202名参加。体験訓練と実技訓練、炊き出し・配食訓練、防災フェア
12月13日	第8回 防災会議	訓練反省会
令和7年1月15日	第9回 防災会議	防災訓練振り返り(まとめ)
2月19日	第8回 防災会議	救助活動報告、7年度の進め方について

※浜須賀地区まちのちから協議会 災害時連携協定（10月20日締結）

本協定は浜須賀地区の12自治会が参加する、浜須賀地区まちのちから協議会の防災部会において、災害発生時の初動期の活動を想定し合意されたものです。災害は規模や種類によって不確定のため、実相により合意事項以外の事象も柔軟に対処することとします。

＜基本事項＞

- (1) 被災状況による人的支援の協力
- (2) 救出救護活動における使用機材の貸与
- (3) 被災地域が自治会の境界付近の場合、隣接自治会が協働で対応
- (4) 災害時の情報伝達のため、各自治会保有のトランシーバーの使用規約を設定

（４）広報部会

広報編集会議

実施日	会議の名称	主な内容等
令和6年 6月6日	第1回 広報編集会議	広報紙第24号の紙面構成を検討
8月1日	第2回 広報編集会議	広報紙第24号の初稿と初稿戻し
10月 3日	第3回 広報編集会議	広報紙第25号の紙面構成を検討、次年度の発行計画の確認
12月19日	第4回 広報編集会議	広報紙第25号の初稿と初稿戻し

※各2校については、メールにて確認。

配布物：広報紙 第24号（令和6年9月1日発行。4頁、5,500部作成 全戸配布）

広報紙 第25号（令和7年2月1日発行。4頁、5,500部作成 全戸配布）

ホームページリニューアル作業会議

浜須賀地区のお知らせやイベントを速効性を持って市まちぢから協議会ホームページにアップ。スマホで簡単にクリアに見れる仕組みを随時作成しています。

(5) 環境部会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和6年 5月21日	第1回 環境指導員会議	戸別収集
11月21日	第2回 環境指導員会議	ゴミの分別、戸別収集実験事業

(6) 防犯部会

実施日	会議の名称	主な内容等
通年	防犯指導員総会、キャンペーン、パトロール活動など	13 地区と寒川地区が寒川・茅ヶ崎防犯協会に所属、防犯キャンペーン、防犯チラシを配付。青パトで地域の見守り活動実施。
7月&2月	防犯ネットワーク会議	浜須賀地区の通学路の見守り活動を実施

2 事業の実施

(1) すこやか赤ちゃんサポート

概 要 浜須賀地区内の乳幼児とその保護者を対象とした支援事業です。毎月第三木曜日の9時30分より120分程度、子育ての悩みや楽しみを共有する場を設け、乳幼児の健全な成長と保護者の悩みの解消を目的とし、地域住民同士の顔の見える関係づくりに取り組みました。

参加者 母子333人 スタッフ111人

その他 広報や回覧にて事業の案内とあわせて随時参加の呼びかけを行いました。

実施日	事業	参加人数	備考
4月18日	読み聞かせ絵本：心ってどこにあるだろう 赤ちゃん手遊び：こいのぼり・アンパンマン・きゅりがもみ 制作：5月の子どもの日に向けて兜づくり	赤ちゃん 10名 母親 9名 スタッフ 10名 保健師 2名	初めての参加者が母親2名。 大きな和紙で赤ちゃんの頭にかぶれる大きさの兜作りです。
5月16日	読み聞かせ絵本：ぼくだ わたしよ 赤ちゃん手遊び：ラララ散歩に行こう 新聞切り抜き：「大好きじゃない」4歳の娘の話 制作：おもちゃ作り（ガラガラ） 保健師：溶連菌に気をつける・水分補給	赤ちゃん 11名 母親 10名 スタッフ 9名 保健師 3名	R1 を飲んで良く洗いガラガラのおもちゃ作りをする。絵本を読んでもあげることの大切さのはなし。感染症と5類になったワクチンの話を保健師さん。
6月20日	乳幼児健康相談日だが来館者少ない。 読み聞かせ絵本：あめのひえんそく 赤ちゃん手遊び：ぐうちよきばでなにつくろ 制作：7月に向けて七夕づくり（提灯）（笹の切り出し一人分の大きさ） WBGT 溶連菌の話。コロナ感染予防。	赤ちゃん 18名 母親 18名 父親 1名 スタッフ 10名 保健師 6名 医療大学学生2名	暑くなってくるので熱中症に注意し水分補給や日焼け防止など。食中毒に気を付けるようにと栄養士さんからのお話。初参加アメリカ人パパ参加。 まちのちから広報の取材。

7月18日	読み聞かせ絵本：むしむしかくれんぼう 赤ちゃん手遊び：あたまかたひざぽん そうめんそうめんつーるつる 新聞切り抜き：お兄ちゃんのキス 福祉大学学生による：赤ちゃん熱中症対策講義 制作：風鈴作りにとりくむ	赤ちゃん 18名 母親 18名 スタッフ 12名 保健師 2名 保健福祉大学4名	梅雨明け、今朝7時に32度。 暑さしのぎに浜館など利用、図書室利用もすると良い。 福祉大学生による「赤ちゃんは体内水分70%・バギーに乗せると3度高い」10分お母さまに講義。熱心に皆聞いていた。
8月15日	読み聞かせ絵本：ひまわりさん 赤ちゃん手遊び：あたまかたひざポン 防災の話：赤ちゃんのもちだし品常備 保健師の話：普段から食べ慣らしておこと、液体ミルクも試飲。甘末も用意。 ヨガ講師：産後ケアヨガ体操	赤ちゃん 10名 母親 7名 スタッフ 7名 保健師 2名 ヨガ講師 1名	日向灘の地震があり、いつ何が起きるか分からないので持ち出し品、赤ん坊のものは必ず揃えておく。産後のお母さん方は産後ケアのヨガを大変喜んだ。飲み物を用意し帰宅前に補給。
9月19日	乳幼児健康相談：生後2ヵ月の初参加者が多く参加。 読み聞かせ絵本：ぱぱおつきさまとって 赤ちゃん手遊び：幸せなら手をたたこう 制作：敬老の日のための作品づくり	赤ちゃん 15名 母親 15名 スタッフ 11名 保健師 5名	乳幼児健診が同時開催なので新生児の親子がおおくみえた。新しい親子に声掛けをする。敬老の日のために一人ひとりの写真を貼り、メッセージを書いて仕上げる作業を楽しむ。
10月10日	読み聞かせ絵本：まつり 赤ちゃん手遊び：リンゴリンゴのほぺ 制作：ハロインカップ作り (ハロインのお菓子のカップ作り) 帰りに袋菓子を一つカップに入れて帰る。	赤ちゃん 10名 母親 10名 スタッフ 8名 保健師 2名 湘南福祉大学1名	父母による絵本読みの大切さをはなす。夫婦で朝の挨拶をきちんとする。 保健師によるマイコプラズマやほかの感染症、コロナが流行っていたときと同じく30秒しっかり手を洗う。
11月21日	読み聞かせ絵本：スイミー(谷川俊太郎) 手遊び：ちょきちょきダンス 制作：クリスマスツリー作り 前日谷川俊太郎氏が旅立った、今朝虹が美しかったはなしをする。	赤ちゃん 17名 母親 17名 スタッフ 10名 保健師 2名	子どもから離れて、制作に一瞬でも没頭できるよう配慮し、日常の煩わしさから解放できるよう配慮する。日の出日の入りの話。ガザ地区の話。
12月19日	乳幼児健康相談同時開催 読み聞かせ絵本：どうしてクリスマスには 手遊び：とんとんとんサンタさん 制作：お正月色紙作り	赤ちゃん 17名 母親 16名 スタッフ 10名 保健師 5名	プチクリスマスパーティー開催。プチカップケーキにホイップで飾り、飲み物サービス。クリスマスの歌。今年の10大ニュースで盛り上がりました。
令和7 1月16日	読み聞かせ絵本：おもちゃ 赤ちゃん手遊び：大きくなったら何になる 新聞切り抜き：あではなく、おは肯定的 制作：カスタネットおもちゃ作り	赤ちゃん 14名 母親 13名 スタッフ 9名 保健師 2名	赤ちゃんのおもちゃ作りを楽しみ、我が子の成長を喜ぶ機会にする。 防災、いざという時の用意品を話す。おむつ・水・ミルク・離乳食靴下・靴・着替え三日分。

	(ペットボトルの蓋と牛乳パック利用)		インフルエンザ流行中の注意。
2月20日	赤ちゃん手遊び：ラララ右手 他 制作：ひな祭り人形作り 折り紙で制作するのだが、細かい作業で 手間取るが出来上がると美しくお喜び。 子育て中の親にとって集中する作業時 間は貴重で息抜きとなる。	赤ちゃん 12名 母親 12名 スタッフ 9名 保健師 2名	乳幼児子育てで大切な事のは なし。保健師から手洗い、良く 寝て食べることが大切との話。 難しい折り紙をよく頑張って 完成。 妊婦さん3名もいた。
3月13日	乳幼児健康相談日 読み聞かせ絵本：まるのこ 赤ちゃん手遊び：あなたのお名前なん で すか 制作：歌詞カード本づくり (一年間歌った歌のカード)	赤ちゃん 18名 母親 18名 父親 3名 スタッフ 6名 保健師 5名	保健師さんに困ったとき相談 に乗っていただける話をする。 一年間歌った手あそび歌の歌 詞カード作り。 仲良しのお母さん達で盛り上 がり復職すると友と惜しむ。

(2) 広報「浜須賀まちのちからニュース」発行事業

概要 地域住民に「当事者として地域のことを考えてもらう」ためのきっかけづくりとして、まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行いました。令和6年度には第24号及び第25号を発行しました。

(3) 市民のつどい開催

概要 浜須賀会館の目安箱で意見募集のうえ、市民集会「市民のつどい」を開催しました。集まった意見26件のうち、浜須賀地区まちのちから協議会で整理のうえ、「防災」、「交通安全」、「生活環境」にテーマに9件の内容について取り扱いました。

実施日 令和6年7月13日(土)

場所 浜須賀会館 2階第1・2集会室

参加者 地域住民 35人 行政7人

(4) 浜須賀会館まつりに参加

概要 「浜須賀会館まつり」にてまちのちから協議会に関するパネル展示を行いました。

実施日 10月19日(土)～20日(日)

場所 浜須賀会館 ラウンジ

(5) 施設見学研修会

概要 地区の環境美化や環境問題を理解する一助とするため、環境事業センターの職員より講義を受け、施設内を見学しました。

茅ヶ崎市博物館では、戦後80年企画展「戦中・戦後の暮らし」の展示等を見学し、浜須賀地区の歴史に触れることができました。研修を通じて、運営委員間の親睦を深めたり、意見交換を行うことができました。

実施日 1月28日(火)

場所 茅ヶ崎市環境事業センター 茅ヶ崎市博物館

令和6年度 浜須賀地区まちのちから協議会収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	内 訳
補助金	886,402	750,002	運営費等助成 250,000
			特定事業助成金①（広報紙発行事業） 260,402
			特定事業助成金②（赤ちゃんサポート事業） 196,000
			地区防災訓練補助金 43,600
繰入金	75,000	88,210	防災センター研修参加費 9,500
			各自治会防災訓練参加費 21,800
			研修会参加費 6,000
			各自治会分担金 50,910
その他	0	0	利息
繰越金	315,483	315,483	前年度からの繰越金
合 計	1,276,885	1,153,695	

支出の部

(単位：円)

項 目		予算額	決算額	市補助充当額	内 訳
運営費	事務消耗品費	7,000	4,879	4,879	インク・付箋代4,879
	会議費	40,000	28,136	7,815	会議資料コピー代等7,815、お茶・昼食代20,321
	役員手当	40,000	50,000	40,000	会長、副会長2名、会計へ各10,000、監事へ各5,000
	事業費	150,000	82,092	52,560	マイクロバスレンタル代45,000、クリーニング代7,560、お茶・昼食代29,532
	負担金	33,000	27,500	0	まちぢから協議会連絡会等
	その他	0	53,683	43,683	書庫43,683、弔慰金10,000
	市への返還金	0	101,063	-	
	小計	270,000	347,353	148,937	
特定事業費①（広報）	委託料	237,402	237,402	237,402	印刷委託（仕分け作業含む） 年間11,000部 第24号＝5,500部（全戸配布）A3・4頁 第25号＝5,500部（全戸配布）A3・4頁 （税込118,701）
	予備費	23,000	0	0	
	市への返還金	0	23,000	-	
	小計	260,402	260,402	237,402	
特定事業費②（赤ちゃん）	報償費	120,000	112,000	112,000	・サポーター活動費110,000（サポーター1人1回参加ごとに1,000） ・ヨガ講師代2,000
	物品費	76,000	62,180	61,679	・事業費 47,060（紙類、文房具、玩具等） ・飲食費 10,140（熱中症対策、イベント用） ・事務費 4,980（印刷代）
	市への返還金	0	22,321	-	
	小計	196,000	196,501	173,679	
防災訓練事業費	事務消耗品費	240,000	76,081	43,600	プロパン、豚汁用お椀、コピー代、雑巾、洗剤等58,197（うち、14,597は分担金） お茶代17,884
	小計	240,000	76,081	43,600	
繰越金		310,483	273,358	-	
合 計		1,276,885	1,153,695	603,618	

令和7年度事業計画

【浜須賀地区まちのちから協議会について】

浜須賀地区は、他地区と比べると住宅用地の割合が高く、昔から住む地域住民が多いことから、自治会加入率 84.59%（市全体 71.59%※R6）と市内において最も高い地域です。

本協議会は、他地区に先駆けてモデル地区として設立し、名称も唯一の「まちのちから」協議会として取組を進めています。

構成として、12の自治会と各種団体、推薦委員・公募委員の26名により構成され、準委員として地区内の小中学校及び地域包括支援センターを加え、地域全体で情報共有を図りながら取り組んでいます。

1 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づく事務

- (1) 浜須賀地区認定「コミュニティセンター浜須賀会館」の指定管理者として可否を検討します。
- (2) 条例に基づく各種提出書類の作成事務
- (3) 認定コミュニティ助成金（運営費等助成金、特定事業助成金）の交付申請に関する事務

2 広報・情報発信の強化

「浜須賀地区の一員である」という当事者意識、「住んでいて良かった」と地域を大切にする心を持続していただくためにも、誰もが参加出来る組織の透明性、活動の民主性を高めるため、協議会の活動紹介や取り組み状況など、浜須賀地区に関するさまざまな情報発信を行います。

- (1) 広報「浜須賀まちのちからニュース」発行事業 年3回発行 フルカラー版

臨時号 6／1（全戸配布。5,500部）A4版、4頁

第26号 9／1（全戸配布。5,500部）A3版、4頁

第27号 2／1（全戸配布。5,500部）A3版、4頁

※広報編集委員＝会長、副会長、会計、自治会長会代表、その他委員会で承認された方。

※発行については、状況によって変更となる可能性があります。

- (2) ホームページ関連

茅ヶ崎市まちちから協議会連絡会が開設するホームページ内に、浜須賀地区まちのちから協議会として、これまで発行してきた広報紙を掲載するなど、内容の充実に努めます。

3 視察研修の実施

実施日時 未定

4 市民のつどい開催

実施日時 7月12日（土）予定

テーマ 目安箱に地域課題に関する意見を募り、行政と懇談会を行います。

テーマ・日時は、状況によって変更の可能性があります。

5 地区防災訓練の実施

実施時期 11月29日（土） 浜須賀小学校 （予定）

学校における防災資器材の設置に関する訓練を、人数を限定して行います。

実施体制や詳細な内容は、防災部会及び関係部署と協議のうえ進めます。

6 すこやか赤ちゃんサポート事業

絵本の開き読み、各種制作、健康づくり事業など、乳幼児とその保護者を対象とした支援事業を実施します（年に12回実施。1回あたり120分間）。子育ての悩みや楽しみなどを共有する場を設けることにより乳幼児の健やかな成長と保護者の悩みの解消、地域内の支え合いを通じた住民同士の顔の見える関係づくり、子育て中の保護者の孤独予防、地域活動における担い手の発掘などに取り組みます。

事業内容

- ・絵本の開き読み ・手遊び ・お話しタイム ・健康アドバイス ・ボールプール・おもちゃ
- ・制作（かぶと、アルバム、手形、七夕飾り、クリスマスツリー、メッセージ、お雛様など）
- ・健康づくり関連（エアコン予防、乾燥予防、汗予防対策、インフルエンザ予防、離乳食について、水分の与え方についてなど）

7 自治会長会

浜須賀地区内の12の自治会長で構成されている。自治会長同士の親睦を図り、情報交換をしながら地域住民の福祉の向上と豊かな地域社会づくりに取り組みます。

実施時期 適宜（概ね四半期毎）

8 環境部会

地域内における環境美化に関する取り組みを推進していくため、環境指導員により構成する組織を設置し、協議や意見交換などの取り組みを行います。

具体的な実施時期及び実施体制については、部会と市関連部署と協議して進めます。

実施時期 適宜

9 防災部会

地域防災力の向上を目的として、各自治会の防災リーダーにより構成される組織を設置し、防災活動に関する意見交換及び防災対策に関する協議を行います。

実施時期 定例部会 毎月第3水曜日 各種訓練及び体験訓練は必要に応じて実施します。

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 4月 | 津波ハザードマップ説明会（地区住民向け） |
| 5月 | 新自治会役員向け DIG 訓練（災害図上訓練） |
| 6月 | 新自治会役員 HUG 訓練（避難所運営ゲーム） |
| 7月 | 防災リーダーフォローアップ訓練 |
| 8月 | 避難所開設訓練のみ実施（浜中にて） |
| 9月 | 浜須賀地区防災訓練計画 |
| 10月 | 浜須賀地区防災訓練計画及び津波ハザードマップ説明会 |
| 11月 | 茅ヶ崎市津波避難訓練（11月8日） 浜須賀地区防災訓練予定 |
| 12月 | 防災訓練の反省会 |
| 1月 | 1年を通しての反省及び次年度計画策定 |

10 防犯部会

浜須賀地区の防犯について適宜協議、研究、行動に移し、本地区で生活するすべての市民のより良い生活の一助となるように防犯指導員の配置に取り組みます。

__小学校通学路を中心に関係者・ボランティア等により見守り活動を充実します。

実施時期 適宜

令和7年4月26日時点

令和7年度 浜須賀地区まちのちから協議会 会議予定一覧

会議名	日付	曜日	時間	部屋名
役員会	令和7年4月12日	土	13:30～15:00	会議室
定期総会	令和7年4月26日	土	15:00～17:00	(第1・2集会室)
役員会	令和7年5月10日	土	10:00～12:00	会議室
運営委員会	令和7年5月17日	土	13:30～15:30	第1・2集会室
役員会	令和7年6月14日	土	10:00～12:00	会議室
役員会	令和7年7月12日	土	10:00～12:00	会議室
運営委員会	令和7年7月19日又は26日	土	13:30～15:30	第1・2集会室
役員会	令和7年8月16日	土	10:00～12:00	会議室
役員会	令和7年9月13日	土	10:00～12:00	第2集会室
運営委員会	令和7年9月20日	土	13:30～15:30	第1・2集会室
役員会	令和7年10月11日	土	10:00～12:00	会議室
役員会	令和7年11月15日	土	10:00～12:00	会議室
運営委員会	令和7年11月22日	土	13:30～15:30	第1・2集会室
役員会	令和7年12月13日	土	10:00～12:00	会議室
役員会	令和8年1月17日	土	10:00～12:00	会議室
運営委員会	令和8年1月24日	土	13:30～15:30	第1・2集会室
役員会	令和8年2月21日	土	10:00～12:00	会議室
役員会	令和8年3月14日	土	10:00～12:00	会議室
運営委員会	令和8年3月21日	土	13:30～15:30	第1・2集会室

定期総会及び運営委員会には色を塗っています。

令和7年度 浜須賀地区まちのちから協議会収支予算（案）

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	内 訳
補助金	985,785	運営費等助成金 250,000 特定事業助成金①（広報紙発行事業） 335,785 特定事業助成金②（赤ちゃんサポート事業） 220,000 地区防災訓練補助金 180,000
繰入金	99,000	各自治会防災訓練参加費 23,000 各自治会分担金 52,000 研修会参加費 24,000
繰越金	273,358	前年度からの繰越金 273,358
合 計	1,358,143	

支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	内 訳
運営費	事務消耗品費 7,000	事務用品
	会議費 40,000	コピー、印刷、郵送料、お茶代
	役員手当 100,000	会長・副会長・会計、監事
	事業費 174,000	視察研修、市民集会
	負担金 33,000	まちちから協議会連絡会等
	小計 354,000	
特定事業費①（広報）	委託料 335,785	印刷委託（仕分け作業含む） 年間16,500部 臨時号＝5,500部A4 2頁 （税込47,795） 第24号＝5,500部A 3・4頁 （税込132,495円） 第25号＝5,500部A 3・4頁 （税込132,495円） 予備費 （23,000円）
	小計 335,785	
特定事業費②（赤ちゃん）	報償費 144,000	サポーター活動費 事業12回×12人×1,000円
	物品費 66,000	・事業費 5,000円／月（12か月分＝60,000円） ・衛生費 3,000円 ・事務費 3,000円 ・予備費 10,000円
	予備費 10,000	
	小計 220,000	
防災訓練事業費	事業費 240,000	・防災訓練に必要な消耗品及び資機材の整備 ・自己負担金 60,000円
	小計 240,000	
	予備費 208,358	
合 計	1,358,143	

特定事業の概要（浜須賀地区・広報「浜須賀まちのちから」発行事業）

まちづくりにおいて住民の参加を促すには、まずは協議会活動に興味をもってもらうことが重要であり、まちのちから協議会をはじめとする様々な地域活動を知ってもらう必要があるため、広報活動に積極的に取り組むこととした。

多角的な視点での紙面づくりを行うため、地区自治会連合会、浜須賀会館管理運営委員のほか、地区社会福祉協議会、各学区の青少年育成推進協議会、地区体育振興会協議会、地区民生委員児童委員協議会を加えた広報編集会議を設置し、令和7年3月までに全25号を発行している。

令和6年度もインタビュー取材や見栄えを意識した写真を充実させるとともに、新たに地区の行事日程を知らせるイベントカレンダーを掲載するなど、地域への関心を高めてもらえるような工夫を凝らしている。

（１）事業の概要

◆事業概要

住民に「当事者として地域のことを考えてもらう」ためのきっかけづくりとして、浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区の様々な情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行う。

◆事業の内容

・令和6年度発行日及び発行部数

第24号＝令和6年10月1日（全戸配布） 5,500部

第25号＝令和7年 2月1日（全戸配布） 5,500部

・体裁

A3で4頁（文字の大きさは市広報ちがさきを参考）

※両面フルカラーで発行

【実施主体】浜須賀地区まちのちから協議会

【企画・編集】広報編集会議

【印刷】委託

【配布・回覧】浜須賀地区の各自治会、浜須賀会館、浜須賀中学校、浜須賀小学校、緑が浜小学校、浜須賀保育園、つつじ学園、地域包括支援センターあさひに配布

（２）事業のねらい

浜須賀地区まちのちから協議会を中心として、様々な情報を継続的に発信することで、少しでも地域活動に興味をもってくれる人が増え、最終的には本協議会が浜須賀地区のまちづくりにおける中心的な役割を担っていく上で極めて重要となる「担い手の発掘」につながっていくことを期待している。

（３）令和6年度実績

例年どおり、本紙作成にあたっては広報編集会議を組織し、校正作業、スケジュール確認等を行っている。編集委員会では、よりよい紙面構成となるよう編集委員間でアイディアを出し合い、それぞれの特技を生かした役割分担がなされている。その結果、地域活動の様子が伝わる紙面に仕上がりと、大変読み応えがある。

担い手については、運営委員退任後も編集委員会に参加してくださる方もいるなど好循環が出来ている。

事業実施報告書

事業の実施内容	活動内容	浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行った。		
	活動期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
	実施体制	広報編集委員会にて企画 印刷仕分け作業を委託	周知方法	
	参加者数	広報発行対象 約5,500世帯	実施日	第24号 9月1日発行 第25号 2月1日発行
事業の目的や効果は達成できましたか		浜須賀地区内の各自治会の協力で戸別配布するとともに、地域集会施設にも配架し、地区内の住民が手に取ることができる体制に努めました。 幅広い世代に地域活動に関心を寄せてもらうことや、新たな担い手の発掘という2つの大きな目的を達成するためには、多くの皆さんに読んでいただくことが大切です。 今年度も、目を惹く写真があること、内容も読みやすく読みごたえもあるものを目指して取り組みました。読者の目線に立った記事となるよう、インタビュー取材や写真の内容などについて本格的な編集会議を行い、十分な準備を行って発行できました。 また、24号（9月発行）では、地域行事の参加者が増えるよう、前もって下半期の地区の行事日程を知らせるイベントカレンダーを掲載しました。 そのほか、今年度も浜須賀地区まちのちから協議会の組織紹介を掲載するとともに、各自治会の活動紹介も継続して記事とし、地域活動の意義を伝えました。		
事業を計画的に実施することができましたか		編集会議の開催や校正作業、印刷委託、配布等については計画通り実施することができた。		
予算計画や予算配分は適正でしたか		予定どおり、発行することができ、概ね適正でした。		
事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか		地域の各団体や公募委員が編集委員に参加し、広報紙についてそれぞれの団体で意見や要望の聴取に努めています。 また、本協議会の定例会において、事業の内容、進捗状況をお伝えし、都度アイデア等を求めました。		
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか		編集委員会では、若い世代を中心に紙面構成や記事作成の点について、積極的な発言があり、それにより各編集委員に紙面のイメージや方向性が共有されています。 特集記事の取材班、カメラマンなど、編集委員それぞれの地域での繋がりや特技などを生かして、役割分担のもと、それぞれが生き活きと記事作成に取り		

	組むことができます。 運営委員を卒業しても広報編集委員に継続して参加してくださる方もいるなど、とても良い循環が出来ています。
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	表紙や特集記事について、24号は子育て世代が参加する事業、25号は高齢者が参加する事業をクローズアップするなど、幅広い世代に地域イベントを知ってもらう工夫を行いました。 また、そういった各事業の地域活動の担い手について、インタビュー取材のうえ記事にすることで、活動内容や従事者の思いなどを伝える内容としました。 加えて、25号では令和7年に改選期を迎える民生委員・児童委員について、タイムリーにインタビュー記事も掲載しました。 こういった地道な取り組みが、やがて地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘に繋がることを期待しています。 そのほか、イベントのボランティアに参加した中学生のアンケートを掲載することや、小学生特派員による取材など、次世代の参加を目指す取り組みも継続しています。
課題と今後の展望について	年二回の発行で速報性の部分が課題でしたが、今年度はホームページで最新のイベント情報のお知らせを充実させるようにしました。 令和7年度は、年2回のほか臨時号で、前もって年間行事日程等の掲載を予定しています。これにより、より多くの方が地域行事に参加していただけることを願っています。

収支決算書

収入

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
補助金	260,402	260,402	認定コミュニティ特定事業助成金
計	260,402	260,402	

支出

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
委託料	237,402	237,402	印刷委託（仕分け作業含む） 年間5, 500部×2回 第24号＝5, 500部（全戸配布）A3・4頁、 （税込118,701円） 第25号＝5, 500部（全戸配布）A3・4頁、 （税込118,701円）
予備費	23,000	0	
市への返還		23,000	
計	260,402	260,402	

*対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

特定事業の概要（浜須賀地区・地域乳幼児サポート事業）

浜須賀地区では、市が毎月開催していた乳幼児健康相談が平成24年度より隔月開催となったことに伴い、子育て中の保護者からは、「気軽に集まることができる交流の場」が求められており、浜須賀会館には多くの要望が寄せられていた。

本協議会ではこうした住民ニーズに応えるため、市と協働で企画を練り、平成26年より乳幼児健康相談のサポートを受けながら地域主体で、毎月開催している。

（１）事業の概要

◆事業概要

浜須賀地区において、乳幼児とその保護者を対象とした支援事業を実施する。（年に12回実施。1回あたり120分間）

◆事業の内容

- ・絵本の開き読み ・手遊び ・お話しタイム ・健康アドバイス ・ボールプール ・おもちゃ
- ・製作関連（かぶと、アルバム、手形、クリスマスツリー七夕飾り、お雛様など毎月季節に合わせた作品作り）
- ・健康づくり関連（熱中症対策、水分補給、乾燥予防、汗予防対策、コロナ対策、サル病対策、インフルエンザ予防、離乳食について）

※サポートスタッフで打ち合わせを行いながら、その時季によって事業内容を工夫している。

◆その他

地区内における事業協力者（サポートスタッフ）の発掘、育成

【実施主体】浜須賀地区まちのちから協議会

【事業運営】・浜須賀地区まちのちから協議会委員1名

- ・地区民生委員児童委員協議会より4名（1名協議会代表含む）
- ・茅ヶ崎市より保健師2名 ・ボランティア8名

（広報紙やチラシにて、事業の案内とあわせて随時参加を呼びかけている）

（２）事業のねらい

- ・子育ての悩みや楽しみなどを共有する場を設ける。乳幼児の健やかな成長と保護者の悩みの解消に寄与する。
 - ・地域内の支え合いを通じた浜須賀地区における住民同士の顔の見える関係づくりにつながる。
 - ・子育て中の保護者の孤独予防につながる。
 - ・参加者が、将来的な地域の担い手になる。
 - ・サポートスタッフが多くなることで、地域の担い手の発掘に繋がる。
- （本事業のほか、地域内の様々な活動に目を向けてもらえるようになる）

（３）令和6年度実績

参加者間や地域の先輩であるスタッフと子育ての悩みや地域情報を和やかに話ができる環境を整えられている。その安定した運営の成果は、令和6年度の参加数やスタッフ協力数に表れ、事業の目的を十分に達成している。

また、新たに2名の民生委員からのスタッフが加わるなど、安定した事業運営のために努力されている。次世代へ運営を引き継ぐことを課題とされており、広報紙等の活用も含めた検討が行われる。

事業実施報告書

事業の実施内容	活動内容	浜須賀会館大広間にて、乳幼児とその保護者を対象とした各種支援事業（悩み相談、手遊び、読み開き、お話しタイムなど）を実施。 詳細は別紙「令和6年度すこやか赤ちゃんサポート報告」のとおり。		
	活動期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
	実施体制	・浜須賀地区まちのちから協議会委員1名 ・地区民生委員児童委員協議会より2名 ・茅ヶ崎市より保健師2名 ・ボランティア8名	周知方法	広報「浜須賀まちのちから」の特集版を活用し積極的に周知を図った。 また、半期ごとの予定表を配布し、声掛け運動も行っています。
	参加者数	母子 333人 スタッフ111人 保健師 38人	実施日	別紙「令和6年度すこやか赤ちゃんサポート報告」のとおり
事業の目的や効果は達成できましたか	初めての子育てを担う母親のサポートを第一に考え、不安や悩み、大変さを母親同士が話し合える空間を提供したいと考えています。相談できる地域のスタッフや頼りになる保健師さんと安心して話ができる環境を整え、事業の目的を十分に達成していきたいと考えております。母親からは「出かけてリラックスできる場所があって嬉しい」との声を頂いております。			
事業を計画的に実施することができましたか	準備等々時間を要する月もありましたが、計画、実施を総力を挙げて計画通り実施することができました。			
予算計画や予算配分は適正でしたか	予算内で事業を実施できました。浜須賀地区のみならず、遠く松林、小和田茅ヶ崎方面からまた、東海岸の方の多く参加される方がありましたがスタッフもふえて、予定通り実施することが出来ました。			
事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか	事業実施にあたり、毎回事業終了後には振り返りと次回の打ち合わせ等を行い注意する点など、話し合って次回に生かしております。保健師からの貴重な情報提供もあり、連携を密に事業を実施いたしました。参加者とコミュニケーションを図りながら意見聴取に努めております。			
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか	市が毎月開催していた乳幼児健康相談を補完する事業として、年間4回健康相談を行うことが出来、車のない親にとって、身近なところで健康相談が出来ることに感謝の声が多く、やりがいに繋がっている。また、参加される保護者がリラックス出来たり、交友関係に発展したり仲間が出来、参加して良かったと感じていただけるよう、スタッフ一同母親に配慮したりと工夫して活動してまいりました。			
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	今年度は新たに2名の民生委員からのスタッフが加わり、地域全体へこの活動が広がりをみせていることを実感できました。担い手の発掘や育成は、今後の大きな課題であることから、本事業を通じ引き続き地域の輪を広げていきたいと考えております。浜竹子育て支援センターのびのびから見学者があり互いの研鑽の場所となっています。			

課題と今後の展望について	まずはこの事業が継続していけるよう、安定した事業運営に努めていきたい。また、そのためには次世代へ運営を引き継ぐ必要もあることから、広報紙等を活用し、引き続き担い手の発掘にも力を入れていきたいと考えています。
--------------	---

収支決算書

(単位：円)

収入

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
補助金	196,000	196,000	認定コミュニティ特定事業助成金
返還金		22,321	
計	196,000	196,000	

支出

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
報償費	120,000	112,000	・ サポーター活動費 1,000円／110回 ・ ヨガ講師謝礼 2,000円
物品費	66,000	61,679	・ 事業費 44,388円(文房具、色紙、ビーズ、風鈴材料等) ・ 事務費 5,430円 (印刷・コピー) ・ 飲食費 11,861円 (熱中症対策の飲み物代6,171円 イベントにて活用するお菓子・果物代5,690円)
予備費	10,000	0	
市への返還		22,321	
計	196,000	196,000	

*対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

浜須賀まちのちからニュース

24
号

2024
9



「すこやか赤ちゃんサポート」とは、毎月、浜須賀会館大広間で行っている赤ちゃん子育て中の保護者の方を応援する地域の取り組みで、市から特別に認定された浜須賀地区独自の事業です。夏本番を迎える前の蒸し暑いこの日、午前9時30分の開始と同時に赤ちゃんと保護者の方が続々と集まりました。今回は「すこやか赤ちゃんサポート」についてご紹介します。

特定事業

**すこやか赤ちゃん
サポートを
知っていますか？**



育てを応援する「すくやか赤ちゃんサポーター」に参加してみませんか？ また、赤ちゃんサポーターにご興味のある方はいつでもどこからでも見にいらしてください。



持ち物：母子手帳・水分・おむつ 他
開催日：毎月第3木曜日（変動あり）
時 間：9時30分～12時
場 所：浜須賀会館1階大広間
お問合せ：浜須賀会館 0467-87-110

立ち上げメンバーの織岡美法子さんにお聞きしました

平成24年度、茅ヶ崎市では、それまで浜須賀会館で毎月行われていた「乳幼児健康相談」が隔月開催に変更された。その翌年度に「浜須賀地区まちのちから協議会」が発足。以前と同じサービスを提供するすこやかや赤ちゃんサポーターが立ち上がりました。毎回8〜10名ほど参加するスタッフには、応募スタッフの他、民生委員児童委員の現役・OGが協力し、今では、様々な世代の交流が生まれる浜須賀ならではの事業に成長しています。

より良い浜須賀地区のために、それぞれの垣根を越えて
みんなで協議し、課題解決に向けた取り組みを行います。



自治会に入ろう！
そして一緒に活動しましょう！

自治会長会

12
自治会



各種
団体

見守りなど

民生委員児童委員協議会

スポーツ・納涼祭など

體育振興會

ボランティア・お手伝い・敬老など

社会福祉協議会

サポートはますか

地区コミセン

高齢者憩の家	図書館分
--------	------

準委員	見守りなど
-----	-------

見守りなど

浜須賀会館 すこやか赤ちゃんサポート

包括支援センターあさひ

青少年育成

浜須賀小学校 PTA

青少年育成

浜須賀中学校学年代表者会

青少年育成

緑小学区青少年育成推進協議会

青少年育成

浜小学区青少年育成推進協議会

準委員（各学校長が準委員として組織に入っています）

浜須賀小学校・緑が浜小学校・浜須賀中学校

学校は「準委員」です！



地域の子どもたちが地域に貢献できるように
協議会準委員・茅ヶ崎市立浜須賀中学校 校長 尾木左紀子

今年から浜須賀中学校の校長として着任いたしました尾木左紀子と申します。浜須賀の地域の皆様にはいつも大変お世話になっております。昨年度は浜須賀の地区防災訓練で地域の方々の強い協力体制を肌で感じることができました。また、今年度も浜須賀会館まつりをはじめ、様々なイベントを企画していただき、本校の文化部やボランティアの生徒が地域の方とふれあう機会をたくさん作っていただいています。地域で大切に育てられてきた子どもたちが少しでも地域に貢献できるように、今後も呼びかけていければと思っています。今年度は浜須賀中学校創立50年目の節目の年です。浜須賀の地域の皆様にも今まで以上に温かく見守っていただき、学校の教育活動にご協力いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



三つの躰 しつけ

浜須賀地区まちのちから協議会の皆様、いつも大変お世話になっております。

緑が浜小学校長として着任して二年目となりました。私がいつも子どもたちに話していることは、返事・挨拶・後片付けが大切という「三つの躰」です。浜須賀地域は、皆様の多くの目でも子どもたちを見守っていただけているおかげで、特に挨拶がよくできる子どもたちが多いと感じております。躰が身につくと子どもは「我」がとれて素直になり、心の受け入れ態勢が整うということです。こういう子どもは何でも学び・吸収し伸びていくことができます。改めて、感謝申し上げます。



子どもたちと共に成長できる幸せな日々

子どもたちは、お話しするのが大好きです。「青柳校長先生へ！ あのね……」
「先生、ハワイに行ってきたの？（アロハ着用時）。登下校中時の見守りややや教室を回っている際にたくさんの子どもたちが声を掛けてくれます。休みも時間や給食中などオープンな時間には、教室の中から手招きで私を呼んでお話を聞かせてくれます。低学年の教室では、10人の話を同時に聞いたという聖徳太子の逸話を思い起こすほど二人一人が嬉しそうにお話を聞かされたら時には冗談交じりの受け答えをするのですが、子どもたちの視点に驚かされるのが多々あり、日々、学びの連続となっています。一生勉強一生青春。子どもたちと共に成長できるこの仕事をずっと続けていきたいと思える毎日です。

神奈川県総合防災センターを視察して

防災部会

視察研修当日の6月22日(土)は、浜須賀地区防災部会が、浜須賀地区まちのちから協議会の下部組織で、久木田部長、岡崎副部長を中心に自治会会長、役員、防災リーダーを中心に月1回第3水曜日に会合を開いて活動しています。前年度より「神奈川県防災センター」への視察研修が持ち上がっていました。種々の事情で延び延びになっていましたが、今年度になってから具体的な日程が決まり、参加者は各自治会に人数割をして募集したところ、20名の参加となりました。

視察研修当日の6月22日(土)は、浜須賀地区まちのちから協議会の下部組織で、久木田部長、岡崎副部長を中心に自治会会長、役員、防災リーダーを中心に月1回第3水曜日に会合を開いて活動しています。前年度より「神奈川県防災センター」への視察研修が持ち上がっていました。種々の事情で延び延びになっていましたが、今年度になってから具体的な日程が決まり、参加者は各自治会に人数割をして募集したところ、20名の参加となりました。

視察研修当日の6月22日(土)は、浜須賀地区まちのちから協議会の下部組織で、久木田部長、岡崎副部長を中心に自治会会長、役員、防災リーダーを中心に月1回第3水曜日に会合を開いて活動しています。前年度より「神奈川県防災センター」への視察研修が持ち上がっていました。種々の事情で延び延びになっていましたが、今年度になってから具体的な日程が決まり、参加者は各自治会に人数割をして募集したところ、20名の参加となりました。



神奈川県総合防災センター

市民のつどい

より良い地域にするために

7月13日(土)に令和6年度「市民のつどい」が開催されました。市民のつどいは、浜須賀会館に設置した「目安箱」に寄せられた意見を基に、より良い地域になるよう行政を交えて意見交換を行います。

今年度は約60名の地域のみなさんと市長、副市長・関連部課長にご参加いただき「防災」「交通安全」「生活環境」の3つのテーマを設けて話し合いました。各テーマの意見に対して、市の担当部課長より基本的な説明がある中で誰にでもわかりやすく、行政側のどんな意見も挙げてほしいという姿勢は率直な意見を引き出し、特に「防災」では参加者の知識や情報、自治会の取り組みから新たな視点を持つことができました。地域の諸問題について関心を持っている人は多く、寄せられた意見は26件ありましたが、その中で解決・改善まで至らない意見もありましたが、地区内の諸問題について共有することで引き続き取り組むべき課題として受け継がれていきます。

行政と直接対話ができる「市民のつどい」は、地域が抱える課題解決が図れる有意義な場でした。



納涼祭



浜須賀小学校
特派員(H・I)



7月27日(土)、佐藤光市長のご挨拶で納涼祭が始まりました。模擬店は、焼き鳥・ 당てくじ・駄菓子・飲み物・ヨーヨーつりがあり、人気の 당てくじは早くに完売してしまいましたが、ヨーヨー釣りや駄菓子もあり、小さなお子さんもお楽しんでいた。焼き鳥がある納涼祭は初めてでしたが、たくさんの人が並んでいて、買えるまで時間が掛かりましたがとてもおいしかったです。並んでいると暑かったので飲み物屋に炭酸ジュースがあったのは嬉しかったです。

フラダンスの発表が始まると、自然と拍手が起こり、見ながら踊る浴衣姿の子どもたちもいて、周りの人たちはとても雰囲気良かったです。フラダンスはグループによって衣装が違いますが、髪飾りや衣装はカラフルでかわいかったです。フラダンスが終わる頃にはすっかり暗くなり、盆踊りが始めると、子どもから大人までたくさんの人が太鼓の音を聞きながら、やぐらを囲んで東京音頭・ドラえもん音頭・茅ヶ崎ふるさと音頭を踊りました。



納涼祭の最後には、アイスが配られます。夜でも気温が高かったので、冷たいアイスを食べるとスッキリしました。

納涼祭は夕方から始まりますが、やぐらやテントを立てる人やお店の人、自転車で来た人を誘導する人は、早い時間から準備していたと聞きました。たくさんの人の協力があるから納涼祭はできるのだと思いました。友だちと一緒に参加した納涼祭は、夏休みの楽しい思い出になりました。



令和6年 球技大会

浜須賀地区体育振興会

6月16日(日)体育振興会主催の球技大会はソフトバレーボール、グラウンドでは昨年雨で中止となったソフトボールが今年も天候に恵まれ行うことができました。

午前中、体育館では女子ソフトバレーボール、グラウンドではソフトボール、午後には体育館で男子ソフトバレーボールの熱戦が繰り広げられました。ソフトバレーボールは、男子3チーム、女子6チーム、ソフトボールは3チームが参加して大盛り上がりとなりました。ソフトボールでは「荏沼南部・三が丘・浜須賀・平和町・オーベル自治会」混合チームが優勝し、「松浦会・浜須賀住宅・翠松会自治会」の三連合チームが準優勝となりました。

ソフトバレーボールでは、「松浜・三が丘自治会」混合チームが女子優勝、「荏沼海岸緑自治会」が女子準優勝、「荏沼南部自治会」が男子優勝、「松浜・荏沼海岸緑・平和町・オーベル自治会」混合チームが男子優勝となりました。

毎年のことですが、特にソフトボールはメンバーがそろわず参加をあきらめる自治会が多いようです。しかし、今回の優勝、準優勝チームからもお分かりのとおり混合チームの活躍が目立ちます。今年メンバーが足りないからと出場をあきらめた方は、来年度はぜひとも参加してみてください。



菱沼海岸緑自治会

菱沼海岸緑自治会には、菱沼海岸と白浜町にある630世帯

の皆様にご加入を頂いております。自治会の主な活動としては、ゴミ置場の管理、回覧配布物の管理運用、地域清掃、防災対策・訓練の実施、そして地域交流のためのイベント企画運営など多岐に渡ります。しかしながら、すべての加入者様に自治会の存在意義が啓発しきれていないという現状の大きな課題があります。その対応の第一歩として、各組の代表である組長の皆様に向けて、自治会の存在意義や加盟することの意義について説明をさせていただきました。よりよいまちづくりをしていくために、自治会活動の啓発活動を継続し、近所の顔が見える自治会を目指してまいります。そして、本年度は防災対策の中でも特に火災に向けた対策や訓練、防災意識向上のための取り組みを行う予定です。海岸地域でもあるので津波に対する話題が多く上がりますが、菱沼海岸緑自治会のある地域は火災クラスターでもあるため、火災を未然に防ぐ対策と初期消火が重要であると考えます。本年度は地域住民の皆様との交流を図り、顔が見える自治会運営を行い、それを防災に活かして行きたいと考えております。



防災訓練の様子

オーベル茅ヶ崎ラチエン通り自治会

私たちの自治会は、旭が丘のラチエン通り沿いのマンション、オーベル茅ヶ崎ラチエン通りの住民123世帯で構成されており、今年で発足以来15年目となります。ここ数年間はコロナ禍でどうしても活動が停滞気味ではありましたが、ようやく以前の様な日常が戻ってきました。昨年も当自治会イベントであるオーベルフェスタを開催するなど、お子さんを中心に住民の皆様との交流を深めることが出来ました。

小規模ではありますが住民の皆様で自治会の意義を理解し防災・防犯・福祉・環境整備・広報等の活動を推進するために、互いにコミュニケーションをとり、安心・安全を軸に快適で明るく住みよい環境を創り出すことを目指しております。



昨今、各地でいろいろな災害が起きるなか、本年度は特に自主防災組織のあり方について改めてマニュアルを整理し再確認する事から実施しました。また実際に災害が発生した場合、地域・自治会・家族の一人一人がどう行動し何をしたらよいのか、皆の安全を確保する為には、何が必要で何を準備するべきかを皆で考えて構築し、茅ヶ崎市・浜須賀地区と連携しながら共通認識を持つことをテーマとして取り組んでいきたいと思っております。

浜須賀地区イベントカレンダー (10月以降)

毎週	火～土曜日 囲碁 ■
	木・土曜日 健康麻雀 ■
	月・火・木・金曜日 サポートはますか ●
	月・火・木・金曜日 ほっとスペース “いおり” ●

毎月	第1火曜日 シニアエアロビック教室 ■
	第2水曜日 シニアヨガ教室 ■
	第2水曜日 福祉なんでも相談 ●
	第2水曜日 ほっとカフェ “庵” ●
	第2金曜日 サロンはますか ●
	第3火曜日 シニアエアロビック教室 ■
	第4水曜日 シニアヨガ教室 ■
	第4金曜日 サロンはますか ● ※12/27は休み

※日程変更の場合があります。

2024年	6日(日) 体育祭 ▲ ◎ 浜須賀小学校
	9日(水) 転倒予防教室 ■
	10日(木) すこやか赤ちゃんサポート ●
	13日(日) 体育祭予備日 ▲
10月	19日(土) 浜須賀会館まつり ■
	20日(日) 浜須賀会館まつり (展示のみ) ■
	13日(水) 転倒予防教室 ■
	15日(金) ふれあい昼食会 (松浜自治会) ●
11月	21日(木) すこやか赤ちゃんサポート ●
	23日(土・祝) まちのちから運営委員会 ●
	30日(土) 地区防災訓練 ● ◎ 緑が浜小学校
	11日(水) 転倒予防教室 ■
12月	19日(木) 乳幼児健康相談 ■
	すこやか赤ちゃんサポート ●

主催者

- 浜須賀地区まちのちから協議会
- 浜須賀会館管理運営委員会
- ▲ 浜須賀地区体育振興会
- 浜須賀地区社会福祉協議会
- 市

開催場所

浜須賀会館
サポートはますか
その他

2025年	8日(水) 転倒予防教室 ■
	11日(土) 新年のつどい ■
	13日(月・祝) 高南一周駅伝 ▲ ◎ 柳島
	16日(木) すこやか赤ちゃんサポート ●
1月	17日(金) ふれあい昼食会 (菱沼南部自治会) ●
	25日(土) まちのちから運営委員会 ●
	12日(水) 転倒予防教室 ■
	20日(木) すこやか赤ちゃんサポート ●
2月	12日(水) 転倒予防教室 ■
	13日(木) 乳幼児健康相談 ■
3月	すこやか赤ちゃんサポート ●
	22日(土) まちのちから運営委員会 ●

編集後記

▶ 昭和の建物が消え、モダンな街に変化しています。転入してきた新しい方々も、地域の中に溶け込もうと自治会に加入してイベントやゴミ当番に関わっています。やはり顔の見える隣近所との関係は大切です ▶ 市民のつどいに大勢

の方が集まりました。3つのテーマに分けて市長始め幹部から温かい答弁を頂きました。この対話集会こそまちのちから協議会が進む一つの方向か、と皆さんに感謝です。「住んで良かった浜須賀」を実感していただけるように広報誌第24号をお届けします。

【広報編集委員】朝倉哲男・安藤桐子・伊藤季美・大森伸弥・金子芳郎・千葉智之・角田英子・横倉知子

浜須賀まちのちから 広報編集委員 特派員募集！

地域のイベントやおもしろ情報など、取材をしてくれる
小学生・中学生・高校生ボランティアを
募集しています！

こちらまでお気軽にお問い合わせください▶

浜須賀地区まちのちから協議会広報誌 特派員募集係 安藤



浜須賀まちのちからニュース

25
号

2025
2



「ふれあい昼食会」は浜須賀地区
社会福祉協議会(以下、社協)が運
営する事業の一つです。スタート
した昭和63年当初は65歳以上の独
居の方を対象としていましたが、
現在は80歳以上の方を対象とし
て、12の自治会を4つのグループ
に分けて行っています。

昼食作りは社協のボランティア
グループ「えにしだ会」が担い、そ
の活動は今年37年目を迎えます。

今回は松浜自治会対象の「ふれ
あい昼食会」の様子とその裏側を
お伝えします。



ふれあい昼食会

浜須賀地区社会福祉協議会

11月15日(金) 11時30分より浜須賀会館大広間で「ふれあい昼食会」が行われました。前日からの雨が朝のうち残ったこともあってか、ゆっくりと始まりました。

昼食会といっても食事をするだけではなく、まずは簡単な運動を行います。地域包括支援センター「あさひ」の看護師さんによる、その名も「脳活性化元気体操」。座ってできる運動ですが、脳活性というだけありアタマを使います。例えば右肩は後ろに回し、同時に左肩は前に回すといった動きに、時々アレレ…(笑)となりながら身体を動かしました。動き自体は簡単なので家でも気軽に続けられそうです。

ひととき身体を動かした後はお待ちかねの昼食です。

お品書き

鯽の照り焼き
福袋
青葉の胡麻和え
きのこ汁
蕪の浅漬け柚子風味
柿のムース



えにしだ会のみなさん



社会福祉協議会とは

社会福祉協議会とは、民間の福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。茅ヶ崎市では、13の地区協が市社会福祉協議会と連携を図りながら、身近な困りごとを共有し、解決に向けた活動を進め、住みよいまちづくりを目指しています。浜須賀地区社協は「住んでいてよかったまちはますか」をスローガンに、より多くの方が安心して楽しく生活できる身近な存在として活動しています。主な事業は「ふれあい昼食会」のほか、「サロンはますか」「サポートはますか」などがあります。

浜須賀地区
社会福祉協議会
大門会長



すみよい
まちづくりを
目指しています

楽しい時間はあっという間。参加された皆さんは「楽しかった」「美味しかった」と口を留めていました。「毎年この会を楽しみに参加しているんですよ」と話された方も。また、えにしだ会のスタッフから笑顔とともに「美味しい」と言ってもらえることが一番嬉しいとの言葉が聞かれたことも印象的でした。参加者だけでなく、活動を支える側にとっても心が満たされ、心が「ふれあう」ような実りのある会となりました。

美味しい食事でお腹が満たされた後は慶応大学落語研究会の学生さんによる落語のはじまりはじまり。ステージに設けた高座に「あぐら道楽」さんが上がります。演目は「松山鏡」と「禁酒番屋」。表情豊かに登場人物を演じ分け、テンポよく進む噺の中には時事の話題を盛り込み、所々で笑いが漏れるお見事！な一席でした。

えにしだ会では、昼食会の一ヶ月前に献立会議、一週間前にリハーサル(試作)を行います。献立作りの際は、旬の食材を採り入れること、普段家庭では作らないようなもの、懐かしさを感じるようなものといったことを意識しているそうです。きのこ汁は出汁の香りが立ち、福袋には銀杏、なめらかなムースにはコリコリとした柿が入っていたりと、秋を感じるだけでなく、心を込めて丁寧に作られたことが感じられるお食事でした。

サロンはますか

浜須賀地区社会福祉協議会

サロンはますかは誰でものおんびり自由に過ごせる場所です。取材した11月8日は親子11組24名、シニアの方2名、ボランティアスタッフなど含め40名が集まりました。受付で子どもは手作りの名札を付けるとスタンプと遊んだり、大人はおしゃべりをしたり、皆思い思いに過ごします。しばらくしてリトミック・ヨガが始まりました。呼吸を整えて伸びをしたり寝転んだり、どの年代の方でも動きやすいヨガのポーズでリフレッシュ。この日は軽い運動でしたが、季節のワークを行うこともあるそうです。



なあに?」「おもちゃのチャチャチャ」の手遊びをしたり、絵本の読み聞かせもあり、笑顔の楽しい時間でした。1歳のお子さんと参加した保護者の方は「おじいちゃんおばあちゃんに遠くに住んでいて普段会えないので、同じ年代の方とふれあえてよかった」と話していました。広い世代のふれあいが持てるサロンをのぞいてみませんか?

開催日: 毎月第2・4金曜日
時間: 10時~14時(入出は自由)
場所: 浜須賀会館1階大広間



お昼には季節の食材が入ったお味噌汁が配られます。里芋、人参、大根、しめじ、豆腐など具沢山の、優しいお味で大人気。大人も子どももおかわり続出でした。午後は浜須賀保育園の保育士さんと一緒に遊びます。皆で輪になって「おなまえ

囲碁や麻雀でリフレッシュ

浜須賀会館

囲碁

毎週火・土曜日の週5日

浜須賀会館のロビーは囲碁を楽しむ方のためのスペースとして開放されています。この日は3人の方がいらっしゃっていましたが、普段はロビーの席がいっぱいになるほどたくさんいらつやっていることもあるそう。最高齢はなんと90歳、もう20年間ここに通われているとのこと。年1回、囲碁サークル「天寿会」主催による大会も開かれています。



麻雀

毎週木・土曜日の週2日

浜須賀会館1階の奥の和室を麻雀ルームにして「健康麻雀」事業が始まったのはコロナ直前の約5年前。取材当日は「ふうの会」「ひまわり会」の2つの団体が予約をされていました。ゲームの合間に少しお話しを伺うと、「麻雀は頭の体操になるし、こんな面白い遊びはない!」と楽しそうに答えてくださいました。メンバー最高齢は85歳とのことですが、みなさん本当にお若く生き生きされています。いらつやいました。



第41回

会館まつり開催

まつり前日のテント張り、会場準備、当日早朝のテント張り他準備が整い10月19日(土)の当日を迎えました。好天に恵まれ、開会式における中学生吹奏楽部の、元氣なファンファーレ演奏でスタートしました。屋外会場は、今年新しくボイスカウトのたこ焼き、自治会の有機野菜販売も加わり大賑わいでした。こどもたちもバルーンアートの風船を腕につけ笑顔で各会場を回っていました。例年のくじ引きもあり多くの方が楽しめる、会館まつりとなりました。

これも地域の協力があってこそ身近なおまつりであり、地域交流の一助になっていると考えます。今年のテーマのように「参加するひと、観る人も、みんなが楽しい会館まつり」となりました。(浜須賀会館管理運営委員会 会長 清水孝)



ボランティアアンケート

Aさん

- 食べ物、雑貨など幅広いものが販売されていて楽しかったです。
- バルーンアートを作ってあげたり、手に取ってくれたりすることがうれしかったです。
- また来年も参加して、他の仕事もやってみたいです。

Cさん

- ボランティア活動は初めてだったから少し緊張していたけど、いざやってみたらすごく楽しかった。

浜館まつりには、浜須賀中学校の生徒がボランティアで毎年参加してくれています。今年も大活躍してくれた中学生ボランティアのアンケートから、いくつかご紹介いたします。

Bさん

- 営業していると、頑張ってるね！と声をかけてくれる人がいてうれしかった。
- お手伝いしている場所の雰囲気明るく皆さんが優しくて、困ったときに手助けしてくれた。

来年度に向けての提案

- 休憩時間を増やす
- ボランティアの内容を自分たちで選びたい
- 一つ一つのお店の装飾をやってもいいんじゃないか

浜須賀小学校
特派員 (H・I)

浜須賀地区体育祭

浜須賀地区体育振興会

10月6日(日)、体育祭が浜須賀小学校で開催

されました。体育祭は、グラウンドに参加者全員が並んでラジオ体操をしてから競技が始まります。自治会ごとにテントがあつて、それぞれ決まった色のハチマキを付けて次の競技は誰が出るかを確認したり、競技に出ている人を応援したりします。速さを競う種目だけではなく、缶を積み重ねて落ちないように走ったり、ラケットにボールを乗せて走ったり、ジャンケンで勝たないと進めない競技もあつたりするので見ているのも楽しかったです。

応援が一番盛り上がりついていたのはリレーです。1チーム12人で小学生から大人までいろんな人が走ってバトンをつないでゴールを目指します。どこのテントもみんな前に出て応援していました。

朝は少し風が冷たく感じましたが、お昼になる頃には晴れてあたたかい良い天気になりました。お友達と一緒に弁当を食べたり、遊ぶことができるのも楽しい1日でした。



地域防災訓練に参加して

防災部会

11月29日(土)、防災訓練に自治会として参加させて頂きました。再確認の意味で、私たちは当該避難場所を経由し訓練場所(緑が浜小学校)向かいました。訓練では、消火器の使い方や応急手当方法等、様々な事を学ぶ機会になりました。訓練では、消防署や市職員の方々の協力も得て、実践的なシナリオを通じて防災意識を高める事ができたと感じています。

参加して感じた事は、地域全体の連携の重要性です。住民一人ひとりが状況を理解し、協力し合う事で、災害時の混乱を最小限に抑える事ができます。実際に訓練として体験する事で、普段は意識しにくい防災の知識や技術を身につける事ができ、貴重な経験となりました。

防災訓練は、継続的に行う事が重要です。災害はいつ起こるかわからないため、常に準備を怠らない事が求められますが、定期的な訓練を通じて、住民の防災意識を維持する大切さを意識する事ができました。訓練を重ねる事で、地域全体の結束力が強まり、いざという時に迅速かつ的確な対応が可能になるだろうと感じた防災訓練でした。

今回の防災訓練を通じて、地域の安全を守るためには、住民の協力と継続的な努力が不可欠である事を改めて実感しました。今後、自治会でも定期的な訓練を実施し、地域全体で防災意識を高めていきたいと思います。(三が丘自治会 会長 中山智行)



民生委員・児童委員は 住民の立場にたって まちの福祉を担うボランティアです

私たちは簡単に言うと「福祉のことを知っている近所の人」です。相談内容に応じて、行政や社協、学校、地域包括支援センターなどさまざまな専門機関と連携し、必要な支援へのつなぎ役となります。また、地域の見守り役として、定期的な訪問を通じて、高齢者や障がい者世帯、子どもたちの見守りをおこなっています。



あなたに必要な支援につなぎ、
ネットワークであなたを支えます

※民生委員・児童委員には法による守秘義務があります。
安心してご相談ください。

悩みや不安、気になること…
ひとりで悩まずに相談してください

浜須賀地区民生委員児童委員協議会



神奈川県
民児協キャラクター
「みんぴょん」

三連合自治会

浜須賀地区東南部に位置しており、いずれも緑が浜小学校区内にある3つの小さな自治会、翠松会・浜須賀住宅・松濤会を合わせて「三連合自治会」として協力してイベント等活動を行っています。

少し前はコロナ禍もあり、毎年行なっていた夏、冬の合同イベントが開催できませんでしたが、来年の1月には、5年ぶりに「餅つき&芋煮会」を小和田浜公園にて開催予定で準備をしています。このイベントは平成18年から合同で実施しており、特に子どもさんに餅つきの体験をやらせてもらいたく、大人の援助を借りながら小さい子も一生懸命餅をついています。また、芋煮は伝統的に山形風の醤油味です！冬場のイベントではありませんが、以前は浜帰りのサーファーの方が杵を振る姿もあり、さすがに「茅ヶ崎だなあ」を感じた次第です。



翠松会自治会防災倉庫



餅つき&芋煮会



緑が浜小学校と学園通り

岡田まゆみさん



今回は民生委員・児童委員の 岡田まゆみさん 堀口圭二さん に
委員を引き受けた経緯や活動している中で感じることや思うこと
浜須賀地区の皆様にお伝えしたいことをお話いただきました。

堀口圭二さん



■ 民生委員を引き受けたきっかけはどのようなものでしたか

堀口：最初は自治会長さんからお声掛けいただいたのですが、その時は民生委員がどのような活動をしているのかは知りませんでした。現役中は地域活動に関わる事はありませんでしたが、義両親はサポートはますか、えににだにに所属してました。自治会長さんと民生会長さんが説明に来てくれて「大丈夫、大丈夫」と言われてお受けする事を決意しました。

岡田：自治会副会長さんからお声掛けいただきました。子育て・介護がひと段落していた事もあり、お断りする理由がありませんでした。ご近所に民生委員さんがいたこと、輪番制の自治会当番の経験はあったものの、今まで地域活動に関わっていなかったで、やってみようかなと思いました。

■ 実際に活動してみて、どんなことを感じられますか

堀口：担当しているのは私が住んでいる隣の地区なので、民生委員のネームプレート之首から下げて、地区を歩き回り挨拶をするように心掛けています。地区や地域の事を知る事で少しずつ、つながりが広がっていくのを感じられる所が民生委員の良い所だと思います。民生委員だけでは足りない部分もあるので、自治会との接点を増やしてうまく連携が取れたらもっと良くなると思います。お互いのことを知って関係性を深めたいです。

岡田：訪問する時は今でも勇気が必要ですが、元気な、変わりないかなと言う気持ちで会いに行っています。最初の頃は心配し過ぎてしまうことがあり、前任の方や民生会長に相談したこともありました。やはり自治会との接点が大事ですね。担当地区は自分が住んでいる地区ではないので、担当地区に住んでいる民生委員さんから情報を共有することで把握することは

できますが、スピード対応が必要な場合もあるので関係性を深めたいです。すこやか赤ちゃんサポートや小学校の下校パトロールのお手伝いもしていますが、赤ちゃんやお母さん、子どもたちから元気をもらえて楽しいです。

■ 浜須賀地区の皆さんに伝えていきたいことは

堀口：民生委員は基本的なマニュアルはありますが、個々でやり方が違います。統一されていないのが逆に良い所です。出来る範囲で活動をしていますし、地域とのつながりが出来て引き受けて良かったと思います。この記事を読んで「やってみようかな」と思ってもらえたら嬉しいです。

岡田：すこやか赤ちゃんサポートや、はまかんこどものいえなど子育てに関わるつながりが広がっています。民生委員というお堅いイメージもあると思いますが、決してそんなことはなく「やってみてもいいかな」と思う方が少しでも増えたらいいと思います。いろいろな世代の民生委員さんがいたら素敵ですね。

民生委員児童委員協議会の任期は1期3年です。

堀口さんは年度途中からの活動ですが2期、岡田さんは3期活動されています。1期目は知ることから始まり、2期目は認識してもらってきたからもう少し関わろう、3期目は、訪問先で「来てくれてありがとう」という反応が嬉しい。大変なこともあるけれど、それ以上の物をもらっていてそれが原動力になっていると話してくれました。

今年の12月に改選があります。詳しくは自治会長にお声がけください。

編集後記

▶ 昨年は猛暑・地震・水害が各地に大損害を残しました。被災地では、未だにあたりまえの生活に戻っていません。想定外の事件も増えてます。自治会の仲間や隣近所の顔の見えるお付き

合いを大切にしましょう。
▶ 高齢者の集いを中心に広報誌第25号をお送りしました。まちのちから協議会は「住んで良かった浜須賀」を実現していただけるよう広報活動に取り組んでいます。

【広報編集委員】朝倉哲男・安藤桐子・伊藤季美・大森伸弥・金子芳郎・千葉智之・角田英子・横倉知子

浜須賀まちのちから 広報編集委員 特派員募集！

地域のイベントやおもしろ情報など、取材をしてくれる
小学生・中学生・高校生ボランティアを
募集しています！

こちらまでお気軽にお問い合わせください▶

浜須賀地区まちのちから協議会広報誌 特派員募集係 安藤

